

あとがき

今月号も、学術論文および教育的内容が豊富で楽しんでいただける企画が目白押しです。その合間に木村内子先生による「やさしい目で きびしい目」でのコラムが光っています。木村先生は、長い間勤務医師を続けられ、この間、そしていまでも眼科女性医師の支援をいろいろ考えてくださっている女性医師の味方です。家づくりという眼科とは関係ない話題のなかに、professionalism について示唆しています。

「もっと医療コミュニケーション」欄では、医師以外の方が医師をどのような目で見ておられるかをお示しいただいたように思われ、読者の先生の反応はいろいろだと存じます。耳の痛くなるような医師は確かに存在するかもしれません。患者さんには罪はないので、おっしゃるとおりスマイルで接しなければなりません。しかし、日本の勤務医、特に少なくとも大学に勤務する医師は、いろいろな身分のなかで臨床、研究を切り盛りし、生活ぎりぎりの給与のなかから学会に行つて勉強したりしています。患者さんには、サービス業でしょと言われ、それを真摯に受け止めて、例えば休日でも患者さんやその家族からお話をするご要望があれば出勤し、患者さんとのコミュニケーションに努めています。

日本の医師は欧米と比べ患者数の多さと、医師の診断・治療技術への評価（給与）の低さ、そして最近の医師の診療行為に対する社会の批判的な見方など、これまで、高いモチベーションで何とかやってきた医師のスマイルが消えていくのもやむをえないご時世だと認識されています。教育にかかわる医師の数も、アメリカと比べ雲泥の差があります。日本では一人の医師が教育、研究、診療を担っていることも多く、パラメディカルや研究補助員の少なさも際立っています。小児科医や産科医、麻酔科医はその偏在などが認識されつつありますが、眼科医についてはまだそれほど理解が得られていないというのが現状だと思います。われわれも自分自身を開き、後輩のために診療のなかに真のスマイルが戻るゆとりと幸せが持てるように、勤務医の現状についてどこかに働きかける勇気が必要なのではないでしょうか。（寺崎浩子）

編集顧問 宇山昌延 大野重昭 清水弘一 玉井 信 塚原 勇 水流忠彦 馬嶋昭生
増田寛次郎 三宅養三

編集委員 坂本泰二 鈴木康之 寺崎浩子 中澤 満 西田輝夫 根木 昭（五十音順）

臨床眼科（第62巻 第6号）

発 行 株式会社 医学書院

2008年6月15日発行（毎月1回15日発行）

代 表 者 金原 優

定価 2,835 円（本体 2,700 円＋税 5%）

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

（2008 年年ぎめ予約購読料 41,660 円
増刊号を含む 13 冊，税込・送料弊社負担）

電話 本誌編集室 (03) 3817-5706 FAX (03) 3815-7802

E-mail: ringan@igaku-shoin.co.jp

販売部直通 (03) 3817-5659・5660

振替口座 東京 00170-9-96693 番

印刷所 三報社印刷㈱ 電話 (03) 3637-0005

広告申込所 ㈲文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

- ・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo Bunkyo-ku, Tokyo © 2008, Printed in Japan.
- ・ 本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信（送信可能化権を含む）に関する許諾権は医学書院が保有しています。
- ・ 医学書院ホームページ（インターネット）は Web <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。「臨床眼科」のページにて最新号の目次、バックナンバーを直接閲覧頂けます。Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/ringan/>
- ・ **JCLIS** <㈱日本著作出版権管理システム委託出版物>
本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に㈱日本著作出版権管理システム（03-3817-5670）の許諾を得てください。

担当 鶴淵・風間・中田